

発行日: 2010年08月17日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 :ナルファルトトップー遮熱P 各色

会社名 :成瀬化学株式会社

住所 :三重県亀山市関町木崎1703-3

担当部署 :工場

電話 :0595-96-1411

FAX :0595-96-0079

緊急連絡先電話番号 :本社0595-97-8300

製品番号(MSDS NO) :No.T0001

### 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する損傷性/眼刺激性:区分 2

発がん性:区分 1A

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性-単回暴露:区分 1

特定標的臓器毒性-反復暴露:区分 1

環境に対する有害性

水生毒性-慢性:区分 4

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

眼への刺激

発がんのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

単回暴露により呼吸器/呼吸器系に障害

反復暴露により腎臓、呼吸器/呼吸器系、肺に障害

長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き

予防

使用前に取扱い説明書を入手する。

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

必要な個人用保護具を使用する。

**対応**

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

直ちに処置する必要がある。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける  
暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受ける。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受ける。

**保管**

施錠して保管する。

**廃棄**

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

**3. 組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別 : 混合物質

成分名 : 鉱油

含有量(%) : <1.0

CAS No. : 非公開/未登録

成分名 : 石英

含有量(%) : <10

CAS No. : 14808-60-7

化審法番号 : (1)-548

成分名 : 酸化チタン(IV)

含有量(%) : 20-30

CAS No. : 13463-67-7

化審法番号 : (1)-558

成分名 : 黄色酸化鉄

含有量(%) : <1.0

CAS No. : 20344-49-4, 51274-00-1

成分名 : エチレングリコール

含有量(%) : 0.2

CAS No. : 107-21-1

化審法番号 : (2)-230

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

**4. 応急措置****一般的な措置**

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

暴露した場合: 毒物センターまたは医師に連絡する。

**吸入した場合**

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときには、医師に連絡すること。

**皮膚に付着した場合**

付着物を布で素早く拭き取る。

皮膚に触れたら大量の水および石鹼または皮膚用洗剤で充分洗う。溶剤、シンナーを使用してはならない。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

**目に入った場合**

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受ける。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける  
眼の中にすべて水が行き届くように洗浄する。

#### 飲み込んだ場合

- 嘔吐物を飲み込ませてはならない。
- 飲み込んだ場合、負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。
- 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
- 必要な場合、応急措置および必要とされる特別な処置の指示直ちに処置する必要がある。
- 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 適切な換気を確保する。

#### 5. 火災時の措置

##### 適切な消火剤

- この製品自体は、燃焼しない。

##### 特定の消火方法

- 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

- 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

##### 環境に対する予防措置

- 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

##### 封じ込めおよび浄化方法と機材

- 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

#### 7. 取扱いおよび保管上の注意

##### 安全な取扱いのための予防措置

###### 技術的対策

###### (取扱者の暴露防止)

- 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
- 必要な個人用保護具を使用する。

##### 安全取扱い注意事項

- 使用前に取扱い説明書を入手する。
- 取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 配合禁忌等、安全な保管条件

###### 適切な保管条件

- 施錠して保管する。
- 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

###### 避けるべき保管条件

- 日光から遮断する。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

##### 職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

###### 許容濃度

- (エチレングリコール): ACGIH (1992) STEL: 上限値 100mg/m<sup>3</sup>(H) (上気道および眼刺激)
- (酸化第二鉄): ACGIH (2005) TWA: 5mg/m<sup>3</sup> (じん肺)
- (酸化チタン(IV)): ACGIH (1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)
- (石英): ACGIH (2005) TWA: 0.025mg/m<sup>3</sup>(R) (肺繊維症; 肺がん)

##### 個人用保護具などの個人保護措置

###### 呼吸器用の保護具

- 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

###### 手の保護具

- 保護手袋を着用する。

**目の保護具**

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

**皮膚及び身体の保護具**

保護手袋および保護衣を着用する。

**適切な衛生対策**

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

**9. 物理的及び化学的性質****物理的状态**

形状 :液体

色 :各色

臭い :僅か芳香臭

pH :7.0-9.0

比重/密度 :1.3-1.6

**10. 安定性及び反応性****化学的安定性**

安定であって、危険な分解や重合は生じない。

**11. 有害性情報**

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

**急性毒性****経口毒性データ**

(エチレングリコール) : ラット LD50 4700 mg/kg

**経皮毒性データ**

(エチレングリコール) : ラビット LD50 9530 mg/kg

(石英) : マウス LDLO 40 mg/kg

**吸入毒性データ**

(エチレングリコール) : ヒト TCL0 10000 mg/m3

**局所効果****皮膚腐食性・刺激性****皮膚腐食性/刺激性データ**

(エチレングリコール) : ラビット 555 mg open ; MILD

(酸化チタン(IV)) : ヒト 0.3mg/3D-I ; MILD

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性****眼損傷性/刺激性データ**

(エチレングリコール) : ラビット 500 mg/24H ; MILD

ラビット 100 mg/1H ; MILD

ラビット 1.44 g/6H ; MODERATE

**がん原性**

(酸化第二鉄) : IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。

(酸化チタン(IV)) : IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(石英) : IARC-Gr.1 ; ヒトに対して発がん性がある。

(石英)ACGIH-A2(2005) : ヒト発がん性の疑いがある

(酸化チタン(IV))ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(酸化第二鉄)ACGIH-A4(2005) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチレングリコール)ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(石英)日本産衛学会-1 : 人間に対して発がん性があると判断できる物質

(石英)NTP-ヒト発がん性であることが知られている

**12. 環境影響情報****生態毒性****水生毒性**

長期的影響により水生生物に有害のおそれ

#### 他の有害影響

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。  
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

#### 13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報  
(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。  
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

#### 14. 輸送上の注意

国連番号に該当しない。

##### 国際規制

##### 海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類)

エチレングリコール

有害液体物質(Z類)

酸化チタン(IV)

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康および環境に関する規則

毒物及び劇物取締法に該当しない。

##### 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(第57条の2、令第18条の2別表第9)

石英;酸化チタン(IV);エチレングリコール

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

#### 16. その他の情報

##### 参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 15th edit. UN

2004 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2007 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z7250 (2005年)「化学物質等安全データシート」

##### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。